

# 感染状況・医療提供体制の分析(11月10日公表)

【岡山県専門家有志】

詳細

(東京都統括コメント参照)



区分	モニタリング項目 ①、②は公表の前週(月～日)の合計 ③～⑤は公表の週の水曜日時点	前回の数値 (11月3日公表)	現在の数値 (11月10日公表)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	209人	202人	→	感染状況コメント レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要
		定点当たり数	2.49人	2.40人	→	
		報告数に占める60歳以上の割合	31.1%	34.7%	→	定点当たり患者報告数は <b>2.40人</b> と微減。インフルエンザ患者数は増加継続(定点当20.04人)、インフルエンザ注意報発令中。 全国的にも岡山でも新型コロナウイルス感染は落ち着いているが、インフルエンザは増加継続。体調不良時は外出しないといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用が必要。高齢者や重症化リスクのある方は、重症化を防ぐために新型コロナウイルスワクチン接種が推奨される。また、早めのインフルエンザワクチン接種も推奨される。
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	1.73人	1.09人	→	
		倉敷市保健所	2.81人	3.06人	→	
		備前保健所	1.93人	1.67人	→	
		備中保健所	3.17人	3.33人	→	
		備北保健所	1.67人	3.00人	→	
真庭保健所	2.00人	3.33人	→			
美作保健所	4.30人	3.60人	→			
医療提供体制	③ 入院報告数	78人	85人	→	医療提供体制コメント レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる	
	④ 重症者数	0人	0人	→	入院報告数も大きく変わらず。新型コロナウイルス患者の入院は継続するも、県全体としては医療提供体制は安定している。	